

長崎市新たな文化施設を考える 市民ワークショップ

第5回「基本計画素案について」

—これからどのように参加・参画していく？—

株式会社シアターワークショップ

2023/1/14

本日のプログラム

ワークショップのプログラム

	内 容	
13 : 30	ふりかえり・基本計画素案の説明	【30分】
14 : 00	ワークショップの進め方について	【10分】
14 : 10	グループワーク1「基本計画素案について」 - 個人で意見出し (05分) - グループワーク (10分) - まとめ (10分)	【25分】
14 : 35	グループワーク2「市民参加・参画について」 - 個人で意見出し (05分) - グループワーク (10分) - まとめ (15分)	【30分】
休憩 (15 : 05~15 : 10)		【05分】
15 : 10	グループ発表	【15分】
15 : 25	なんでもアンケート	【05分】
15 : 30	終了	

前回のふりかえり

2021/7/31 「ソフトとハードをつなげよう」

前回のふりかえり（ワークショップ意見とりまとめ）

■オランダ坂

「目指す姿」実現のために、重点を置きたい事業・これだけは譲れないこと！

■重点を置きたい事業

①魅せる・触れる

- ・エントランスホールで名画やオペラの上映、世界一の音楽祭（良い音響で）
- ・日本の古典芸能の上演、本物に触れる、一流のものに触れる、日頃から本物を見る目を養う

②つながる・育む

- ・本物を子どもたちに日常で触れてほしい、子どもの純粋な目・耳を大事に育てる
- ・ガラス張りの練習室など一般の人、学生など時間制限なく出入りができ、興味が沸くようにしてほしい
- ・子どもと大人と一緒に鑑賞できるものを企画、創造力を育てられるような設備
- ・エントランスに自由に入れる雰囲気、季節を感じられるづくり

■これだけは譲れないこと！

- ・子どもの感性を育てる、自然・緑を沢山とりいれる
- ・席の足元にライトをつける、観客席の勾配をゆるやかに
- ・音響をよくしてほしい、気軽に練習するスペース、市民の文化力を育てる施設

前回のふりかえり（ワークショップ意見とりまとめ）

■ピントコ坂

「目指す姿」実現のために、重点を置きたい事業・これだけは譲れないこと！

■コンセプト（ジャンルを超えた考え方）

- ・根元に日本文化があつての長崎文化だと思う。
- ・今の時代は、能舞台も様々な芸術の発表の場になり得る。
- ・定期的市民が無料で観れる、聴ける催し物を実施（市民団体に依頼）

■建築・舞台・諸室

- ・舞台と客席に重点をおく、子ども連れでも鑑賞可能な客席、年配の方が使いやすい動線
- ・本格的な能舞台、セリ・廻り舞台・花道、パイプオルガン
- ・文化を日常に取り込めるよう若い方のグループが使う小規模スペース、備品庫・倉庫的なスペース
- ・保育室の設置、トイレの充実

■運用

- ・使用時間単位を細かく設定、専門アドバイザーの設置、市内他施設との使い分けを念頭に

前回のふりかえり（ワークショップ意見とりまとめ）

■ ドンドン坂

「目指す姿」実現のために、重点を置きたい事業・これだけは譲れないこと！

「利用者と運営者が意見を交わせること、みんなで良くしていこうとすること（芝生の管理なども）」

→市民ボランティアの特典があるとよい

■ 舞台と音響の利用のしやすさ

- ・舞台周りの使いやすさ、いい音響、公演直前に音を出せる部屋、観劇しやすい会場
- ・他県にも誇れる文化施設

■ 長崎らしさ

- ・長崎らしい施設名、スタンドグラスは長崎のイメージ
- ・和物の公演を招聘、エキゾチックなムードを、子どもたちに親しまれるプログラム、
- ・一流・世界的オーケストラの招聘
- ・「雑音が多い場所」という市民の心配を消してください
- ・敷居が高くなく身近な雰囲気、グリーンの充実、自然エネルギーの活用、カステラベンチ

前回のふりかえり（ワークショップ意見とりまとめ）

■ヘイフリ坂

「目指す姿」実現のために、重点を置きたい事業・これだけは譲れないこと！

■長崎市の未来のためのビジョン

- ・誰のためにつくるのか。10年、20年後の長崎市の文化ビジョン、ライブの楽しさ = 文化の良さ
- ・運営できる仕組みづくり、資金面の支援
- ・長崎市×管理団体×運営団体、市内施設をまとめて管理できるシステム
- ・集客数≠効果あり、市内文化施設との棲み分け（特性を活かす）
- ・新ホールは市内施設のなかで一番オープンなスタイルで広場を美しく

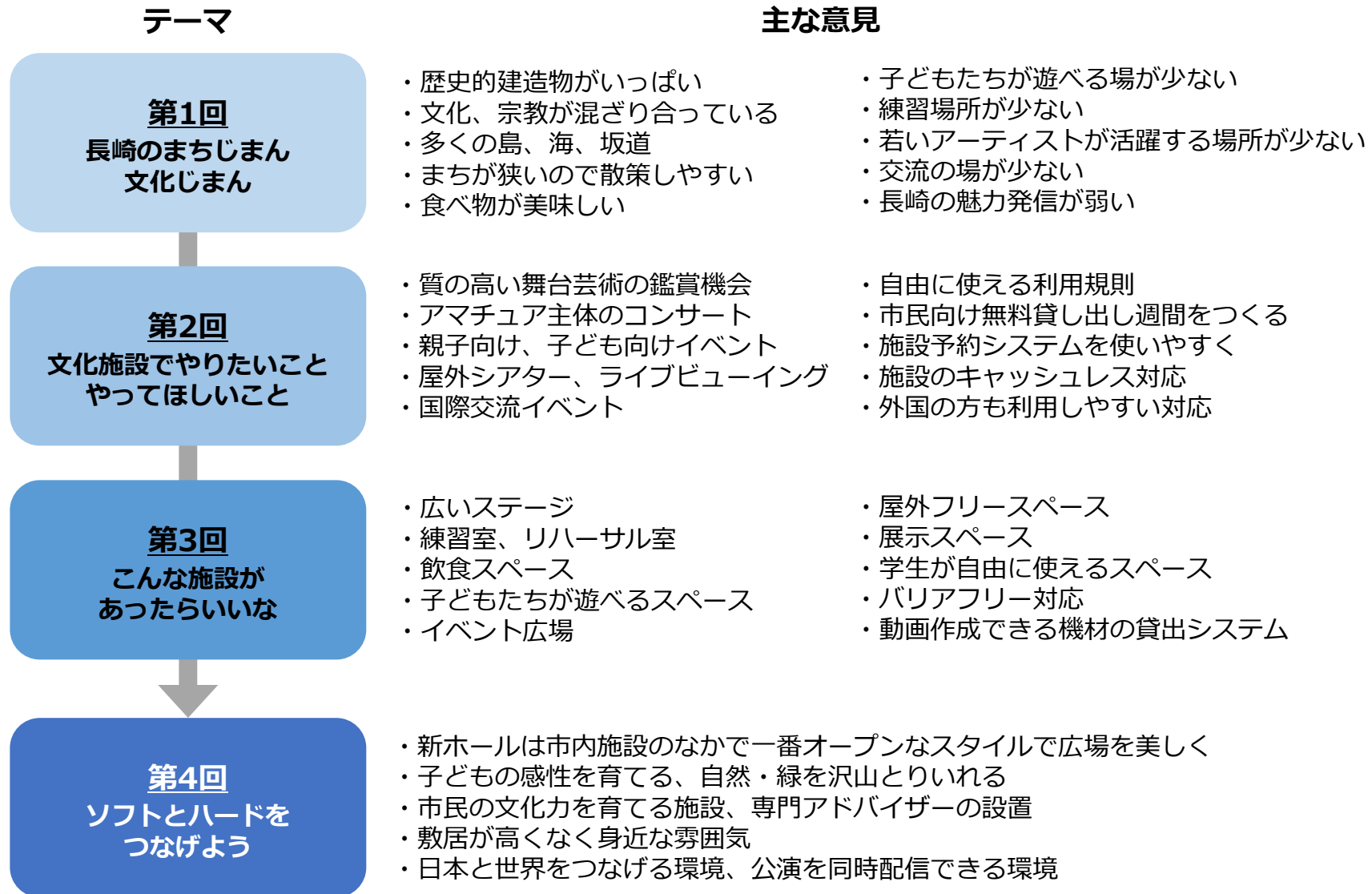
■管理運営

- ・広報、教育現場との連携（育成型事業）、施設の空きがネットで分かり予約ができる
- ・使用料金のシニア割/登録団体割引、全室wi-fi完備、プロジェクターやスクリーンの貸出

■ホール・諸室・その他

- ・日本と世界をつなげる環境、公演を同時配信できる環境、練習室と会議室の兼用
- ・練習室は防音に配慮し、録音録画ができる、庭園でのイベント、マルシェ
- ・障害者が安心して動ける動線の確保

これまでのふりかえり



新たな文化施設基本計画素案

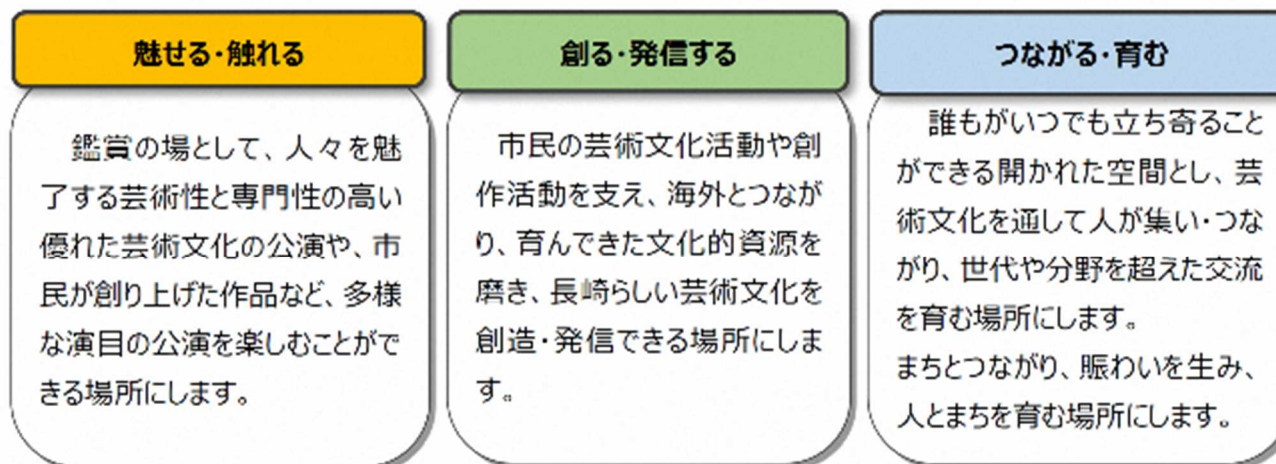
(1) 新たな文化施設のめざす姿

芸術文化と平和を世界と共有する

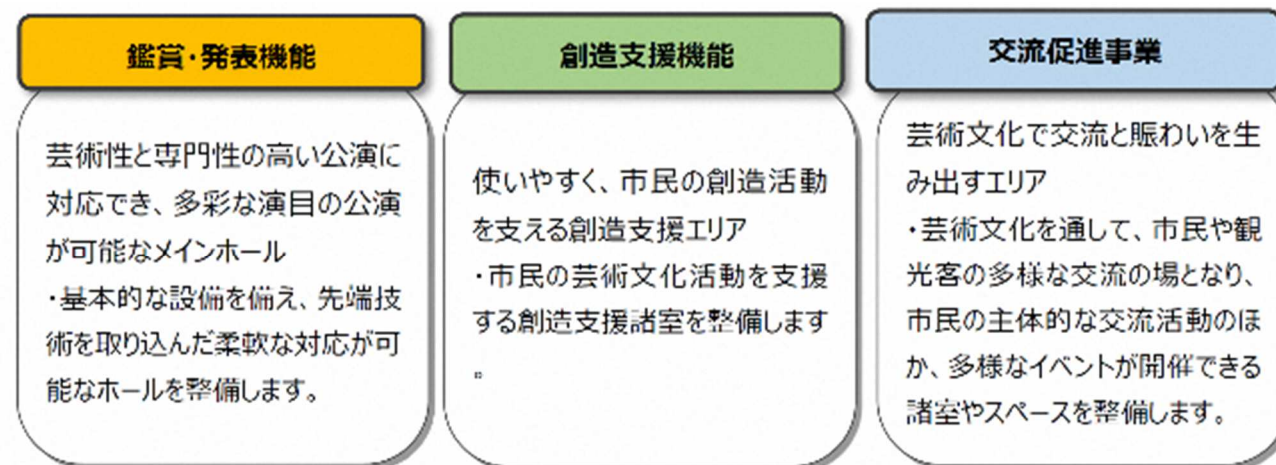
- 市民が芸術文化を楽しみ、芸術文化あふれる暮らしの喜びを体感するとともに、長崎で創られた芸術文化を世界へ発信し、世界の芸術文化が交わる場所をめざします。
- また、文化芸術基本法の考え方にあるように、芸術文化は人々の心のつながりや、お互いを理解しあい、尊重しあう土壌を提供し、多様性を受け入れる心豊かな社会をつくるものであり、世界平和につながることを、長崎で共有し、世界へ広げていくことをめざします。

新たな文化施設基本構想

(2) 新たな文化施設の3つの役割



(3) 必要な機能と諸室の構成

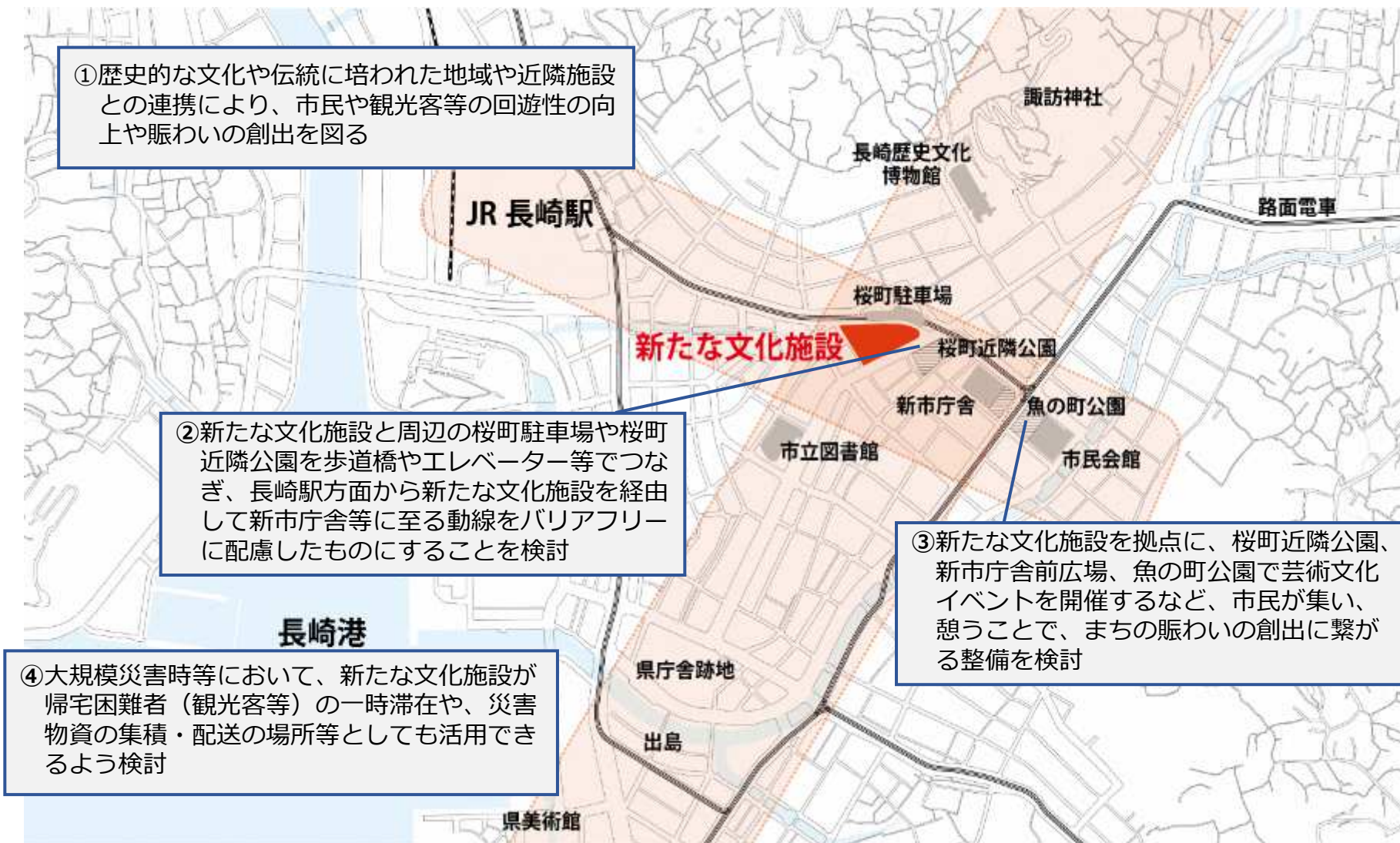


建設予定地

【位置および周辺図】

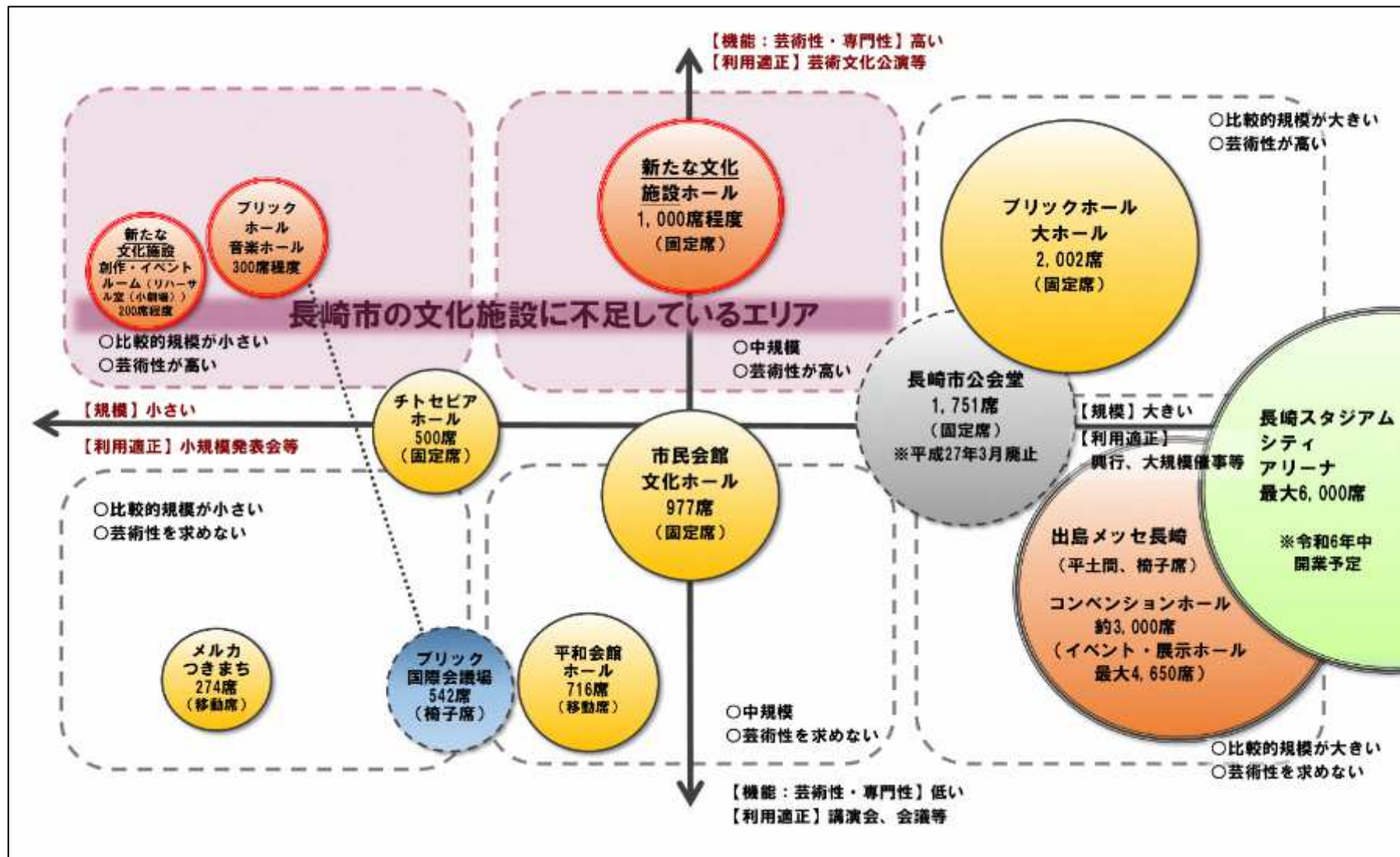


まちの中での施設の役割・期待される効果



機能と規模の考え方

(1) 市内ホール機能と規模の配置イメージ



機能と規模の考え方

(2) 市内ホールでの主な利用内容(想定含む)

ブリックホール音楽ホール (300席程度)(想定)

- 小規模なクラシックコンサート等の音楽公演の発表・鑑賞
- ※国際会議場の改修後

市民会館文化ホール (977席)

- 学校等の中規模催事
- 県内規模の大会、式典や講演会

ブリックホール大ホール (2,002席)

- 興行コンサート
- 出演団体等が多い大規模な芸術文化催事の発表・鑑賞

チトセピアホール (500席)

- 小規模な芸術文化催事の発表・鑑賞
- 隣接学校等の小規模催事

新たな文化施設 (1,000席程度)(想定)

- 音楽、舞踊、演劇、ミュージカル等、中規模の芸術文化催事の発表・鑑賞
- 小劇場での演劇等の公演

スタジアムシティ・アリーナ (最大6,000席)(想定)

- 興行コンサート(クラシック等を除く)
- ※芸術文化利用の場合

メルカつきまち市民プラザホール (274席)

- 行政・企業説明会、展示会の開催

平和会館ホール (716席)

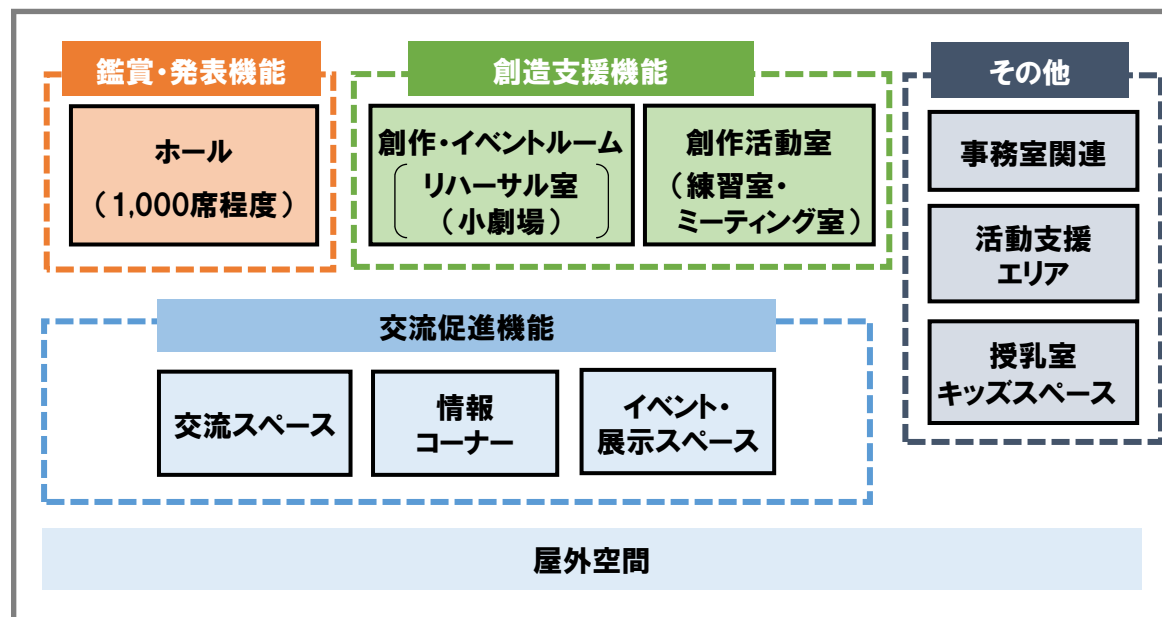
- 被爆体験講話などの平和学習
- 舞踊等の芸術文化活動の練習

出島メッセコンベンションホール (3,000席程度)

- 国際・全国規模の学会、大会、展示会の開催

施設計画

(1) 施設機能



鑑賞・発表機能	市民の舞台芸術の鑑賞・発表の場として、芸術性と専門性の高い公演に対応でき、多様な演目が可能なホールを整備します。
創造支援機能	市民の日常的な芸術文化活動を支える場として、練習室機能とリハーサル室機能を持つ諸室を整備します。リハーサル室機能のある部屋には、小規模の演劇公演やイベント等にも対応可能な舞台設備や控室を計画します。
交流促進機能	芸術文化による交流や賑わいを生み出す場として、市民の交流活動や多様なイベントが開催できる諸室やスペースを整備します。ホールや創造支援機能の諸室を利用しない市民や観光客も自由に利用可能な場とします。
その他の機能	施設全体の維持管理を行う管理事務室のほか、市民活動を支援するスペースや機能を計画します。

(2) 施設構成・規模

ア 鑑賞・発表機能

1) ホール

客席

- ・収容人数は使い勝手に配慮し、1,000席程度(2層)とし、催し物の規模に合わせて少人数でも利用しやすいよう工夫します。
- ・どの客席からも舞台が良く見える配置とし、良好な鑑賞条件を確保します。
- ・ゆとりのある客席寸法とし、障害のある人や親子での利用にも配慮したものとします。
- ・遮音性能に配慮するとともに、催しものに応じて残響時間を調整できるよう工夫をします。
- ・オーケストラピットに対応できるように客席の一部を取り外し可能とします。
- ・催しものに応じて持込機材(音響調整卓、調光操作卓等)が設置できるように計画します。

ホワイエ

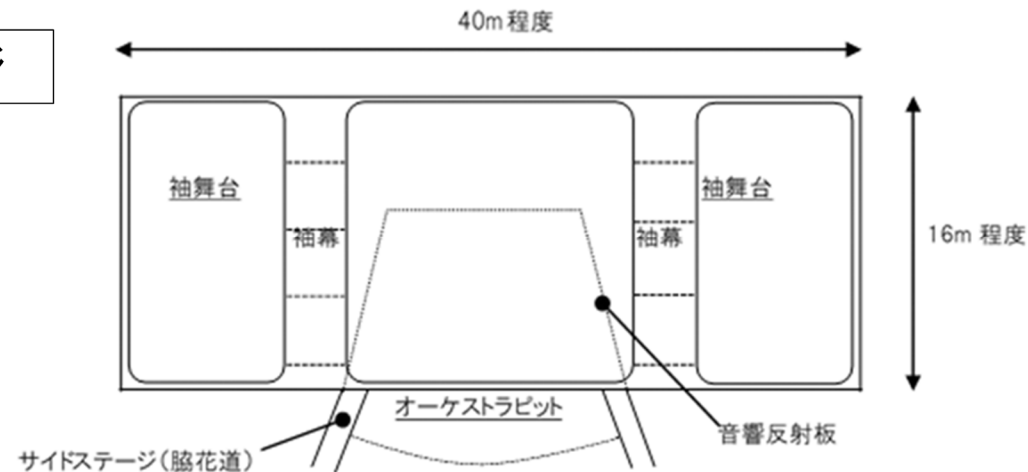
- ・ホール満席時においても対応可能な十分な滞留スペースを確保します。
- ・ホワイエ内のトイレは、客席との往来がしやすい場所に十分な数の客用トイレと多機能トイレを設け、その待機スペースについても配慮します。
- ・来場者が利用できるクロークやロッカーの設置を計画します。
- ・ホワイエまでの動線は、高齢者、障害のある人、子ども等に配慮した計画とします。
- ・ホールが利用されていない時にも開放し、市民等の交流の場となるよう、来館者が日常的に利用できるように工夫します。

(2) 施設構成・規模

舞台

- ・様々な利用に応じて舞台間口を可変できるプロセニウム形式を採用します。
- ・様々なジャンル、演目に対応できる十分な広さの舞台を設け、十分なすのこ高さを確保します。
- ・クラシック音楽のような生音の演奏にも配慮し、音響反射板を設置します。
- ・舞台袖は、搬出入のしやすさや出演者の待機場所、設備スペース等に配慮し、上手・下手ともに十分な広さを確保します。
- ・オーケストラ演奏のある演目や、張出舞台利用に対応するため、オーケストラピット迫りを設置します。
- ・サイドステージを脇花道としても利用し、多様な演出に対応可能とします。
- ・舞台下に奈落を設けることで自由な位置に切穴を設けられる計画とし、必要に応じて大迫り・小迫りを備える等、多様な演出に対応可能なものとします。
- ・様々な催しものに対応可能な舞台特殊設備を備え、多様な公演が可能な計画とします。

舞台構成(案)イメージ



(2) 施設構成・規模

楽屋

- ・催しものの規模に応じて使える複数の楽屋を確保します。
- ・舞台との往来に配慮した配置とします。
- ・楽屋エリアに上演団体のスタッフのための控室を設けます。
- ・楽屋事務室、楽屋ロビー、トイレ、シャワールーム、給湯室、楽屋倉庫等を設けます。
- ・大楽屋は練習やミーティングを行うことも想定した仕様とし、動線を確保します。

搬入口

- ・大きな催しにも対応できるように11tトラック2台が駐車でき、雨天時においても搬出入作業が可能な計画とします。
- ・舞台へのスムーズな搬出入が可能な配置とします。
- ・搬出入経路となる廊下や荷物の一時集積場所となる荷捌きスペースは、十分な広さを確保します。
- ・搬入口が舞台と異なる階になる場合は、搬入用大型エレベーターを設置します。

倉庫

- ・舞台大道具が収納可能な十分な広さの大道具倉庫を設置します。大道具倉庫は舞台との動線に配慮した位置に設置します。
- ・ピアノ庫は温湿度環境に十分に配慮するとともに、舞台との動線に配慮した配置計画とします。

(2) 施設構成・規模

イ 創造支援機能

1) 創作・イベントルーム(リハーサル室(小劇場))

- ・ホールの主舞台と同程度(音響反射板を設置した際の規模)の面積と十分な天井高さを確保し、遮音性にも配慮します。
- ・市民の発表やリハーサルのほか、小規模の演劇公演やイベント等にも対応可能な舞台設備やスタッフ控室を計画します。
- ・公演利用時の収容人数は最大200人程度とします。
- ・市民の発表や小規模の演劇公演等で本番利用する際は、スタッフ控室のほかに、ホールの楽屋や創作活動室を楽屋として転用することで対応します。
- ・ミーティングやホールの楽屋として利用可能な計画とします。
- ・ホールとの同時利用を考慮し、ホールエリアと交差しない動線計画とします。
- ・創作・イベントルームのための専用の搬入口を設けます。搬入口は4tトラックが駐車可能なスペースを確保し、搬出入が容易にできるよう動線に配慮した配置とします。

2) 創作活動室(練習室・ミーティング室)

- ・市民が日常的に利用できるよう複数の部屋を用意します。
- ・小規模な練習や演劇、アンサンブル等で利用可能な規模の部屋を設けます。
- ・電子楽器の練習にも対応可能なよう防音や遮音性能に配慮した計画とします。
- ・ホールや創作・イベントルームの楽屋としても利用できるようホールの舞台との往来に配慮した計画とします。

(2) 施設構成・規模

ウ 交流促進機能

1) エントランスロビー

- ・創作・イベントルームで催しを行う際に、観客の待機スペースとして利用できる空間とします。
- ・小規模なミーティング等で利用できるよう椅子やテーブル等を設置し、市民や観光客が自由に過ごせる交流スペースを計画します。
- ・長崎市の芸術文化の情報収集、観光情報等を集積した情報ラウンジ機能を設け、地域の文化活動等を通じた交流の場のほか、日常的に市民や観光客が気軽に利用できる場として計画します。
- ・ミニコンサートや展示利用等、市民活動で利用できる広さや設備を計画します。

2) 屋外空間

- ・日常的に人が集まるような広場の整備を検討します。
- ・屋内と屋外をつなげるようなイベント開催利用を考慮した設備を計画します。

(2) 施設構成・規模

エ その他の機能

- ・子どもや乳幼児を連れた来館者も気軽に施設を利用できるようキッズスペースや授乳室を計画します。
- ・市民や市民団体などが日常的に利用できるスペースを共用部等に検討します。
- ・施設全体の維持管理や諸室貸出等を行う管理事務室を設置します。管理事務室は、管理運営スタッフの執務スペースや受付機能、利用者打ち合わせの諸室を設けるとともに、来館者が訪れやすい開かれた諸室とします。
- ・新たな文化施設の敷地内に、障害者用駐車場・関係者用駐車場を設けます。利用者用駐車場は、敷地面積の条件等から敷地内に設けることが難しいため、周辺の公営駐車場や民間駐車場を活用することとします。バスへの対応については、敷地内に一時停車・乗り降りスペースを計画することを検討します。
- ・大規模災害発生時に、状況によっては帰宅困難者(観光客等)の受け入れも想定して、一時滞在場所や災害物資の集積・配送場所として利用できるスペースとしても検討します。

施設計画

【想定延床面積】

機能		想定面積	主要諸室
機能部	鑑賞発表機能	3,600㎡	ホール、客席（1,000席程度）、舞台、ホワイエ、トイレ、楽屋、搬入口、倉庫、技術諸室 等
	創造支援機能	500㎡	創作・イベントルーム（リハーサル室（小劇場）、収容200人程度）、創作活動室（練習室、ミーティング室）、控室、倉庫、搬入口 等
	交流促進機能	450㎡	エントランスロビー、交流スペース、情報コーナー、イベント・展示スペース 等
	その他の機能	350㎡	キッズスペース・授乳室、事務室、監視室、守衛室 等
共用部		1,470～1,720㎡	廊下、トイレ、エレベーター 等
機械室		1,130～1,180㎡	機械室
合計 (全体延床面積)		7,500～7,800㎡	

施設整備にあたって考慮すべき事項

① ユニバーサルデザイン・バリアフリーへの対応

- ・すべての人に開かれた施設とするため、ユニバーサルデザインや、近隣施設との連結を含めたバリアフリーなどに対応することを想定
- ・誰もが芸術文化に等しく触れることができ、気軽に訪れ、安心して利用できる施設

② 環境や持続可能性に配慮した施設計画

- ・持続可能な開発目標「SDGs」を踏まえ、時代の大きな流れの中で変わることなく必要とされる機能を満たした施設とするを想定
- ・省エネや再エネを活用した環境にやさしい施設
- ・運営コスト等の様々な負荷を低く抑えられる効率的な方法を検討

③ 災害に対する備えを強固にし、安全を確保できる施設

- ・市民や観光客などを安全に守ることができる施設
- ・施設自体に防災機能を整え、災害に強い施設
- ・大規模災害時等は市民や観光客などをサポートできる機能も勘案した施設

④ 最新の技術や設備による利便性と質の向上

- ・ホールで必要とされる設備等の利便性や効率性ととも、映像や通信技術分野の進化スピードも考慮したうえでの更新等も視野に入れた将来的な技術進化にも柔軟に対応できる施設・設備

⑤ 新たな生活様式等に適合した施設

- ・新たな感染症や、芸術文化を取りまく状況の変化にも対応することを想定した施設

管理運営計画に関する考え方

新たな文化施設の管理運営計画の策定にあたっては、基本構想に掲げる「めざす姿と3つの役割」や基本計画等を踏まえながら、次のようなことを検討していく必要があります。

新たな文化施設の整備をきっかけとして、市民の皆さんがこれまで以上に芸術文化を楽しみ、芸術文化あふれる暮らしの喜びを体感できるようにするため、新たな文化施設が、市民やまちとどのようにつながり、動き、変化をもたらしていくのかを具体化していく必要があります。

また、そのために施設を効果的かつ効率的に管理・運営するための組織体制やルール、運営方針などのしくみを検討するとともに、新たな文化施設だけでなく、他のホール型施設などとも連携し、その効果や成果が大きくなるよう、取り組んでいく必要があります。

管理運営計画の策定に際しては、具体的には次のような項目を検討します。

- ア 基本理念・コンセプト
- イ 事業計画
- ウ 組織計画
- エ 施設管理計画
- オ 広報宣伝計画

ワークショップの進め方

本日のテーマ

ワーク1「基本計画素案について」 – まちの中で新たな文化施設が活きるためには？

今年度、ワークショップや文化振興審議会での議論をもとに基本計画素案を作成しました。

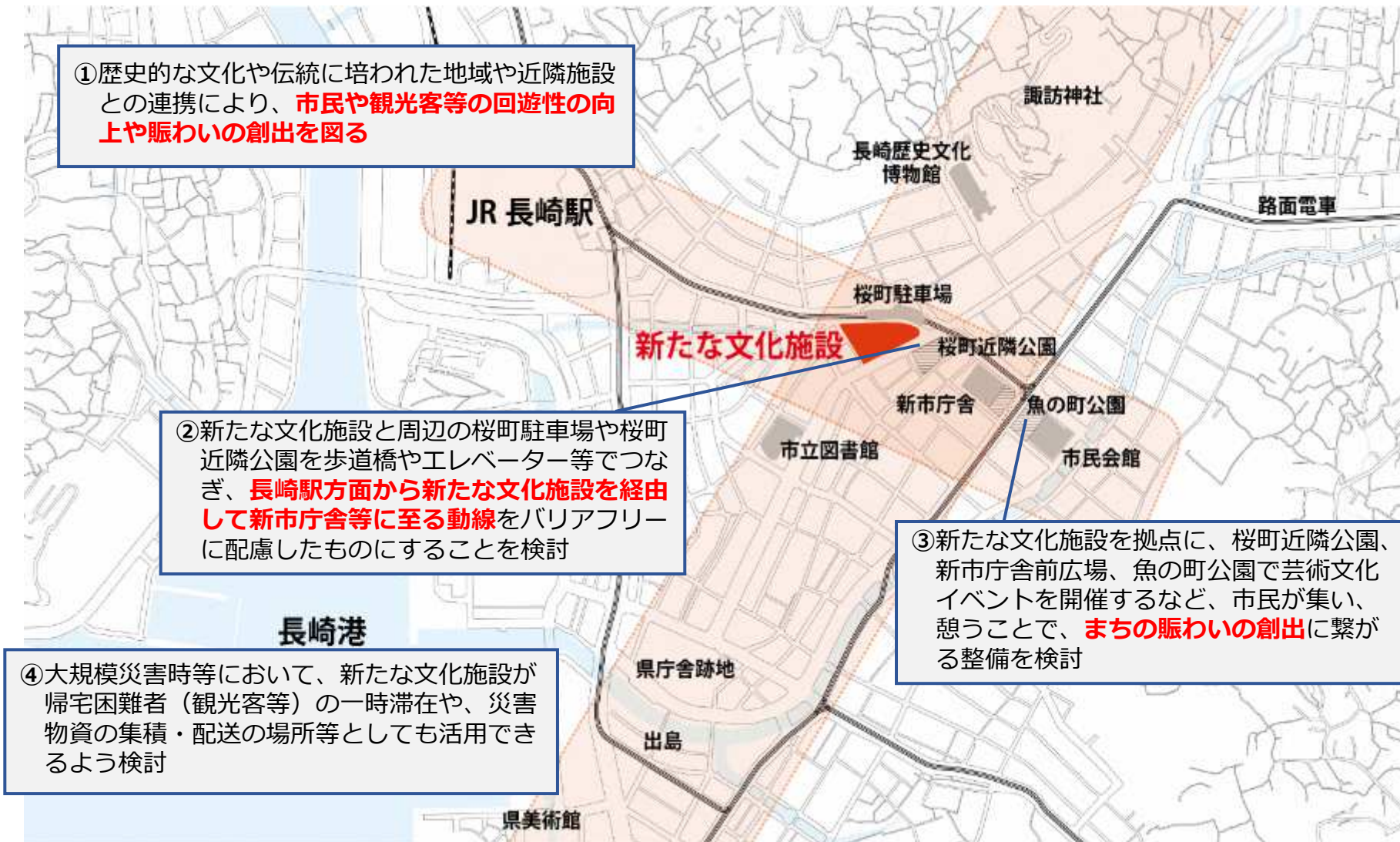
今後、管理運営計画の策定にあたり、基本構想や基本計画等を踏まえながら、市民の皆さんがこれまで以上に芸術文化を楽しみ、芸術文化あふれる暮らしの喜びを体感できるようにするため、新たな文化施設が市民やまちとどのようにつながり、動き、変化をもたらしていくのかを具体化していく必要があります。

そこで、ワーク1では、**新たな文化施設が周辺のエリアや施設とどのように連携していけるか、**考えてみてください。

考え方のポイント

- まちの中で芸術文化を通した、どのようなイベントや取り組みがあれば、回遊性やにぎわいが生まれるか…？

新たな文化施設の周辺施設



新たな文化施設の周辺施設

○桜町公園

・約2,500㎡



○桜町近隣公園

・約2,800㎡

・市庁舎別館跡地（国道と同じ高さ）に整備予定

新たな文化施設の周辺施設

○新市庁舎前広場、新市庁舎多目的スペース



○魚の町公園広場



周辺エリア連携の事例

静岡市「まちは劇場」事業

静岡市に根付いた大道芸や演劇、音楽などの文化・クリエイティブ活動を活かしたまちづくり事業。文化芸術を拠点とした様々なコンテンツの提供を通じて、市民の幸福度が高いまち、存在感のあるまちを実現する取り組み。

まちは劇場パフォーマンススポット



まちなかで様々なジャンルの文化芸術に触れる機会を創出するため、多くのアーティストが活動できる空間『まちは劇場パフォーマンススポット』を提供。

SHIZUOKA PICNIC GARDEN



駿府城公園の広々とした空間を活かし、地元の食材を活かしたグルメや親子で楽しめるワークショップ、こだわりの作家たちの素敵なグッズがあふれるマルシェを展開。

周辺エリア連携の事例

静岡市「まちは劇場」事業

アートプロジェクト「きょうの演劇」



ラジオと公共空間を「舞台」に、そこで暮らす人たちが日常を「上演」することで、まちと人との関係性を結びなおす参加型アートプロジェクト。

シズオカ×カンヌウィーク



静岡市の“まち”を舞台に、カンヌ国際映画祭と同時期に開催される映画とマルシェのイベント。カンヌの雰囲気清水マリンパークで味わうことができる。

周辺エリア連携の事例

北九州芸術劇場

文化施設連携事業



北九州芸術劇場と市内文化施設（響ホール、文学館、美術館、漫画ミュージアム、到津の森公園）の連携プロジェクト。劇場をひとつの“ハブ”とし、領域を超えた創造を目指し、様々な作品を制作、発信。

地域のアートレパトリー連携事業



北九州芸術劇場がコーディネーターとなり、アーティストと地元の企業や団体を繋ぐプロジェクト。1回限りのイベントでなく、連携を継続して作品を地域の財産としていくことが目的。公募で連携パートナー企業を募集。

周辺エリア連携の事例

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

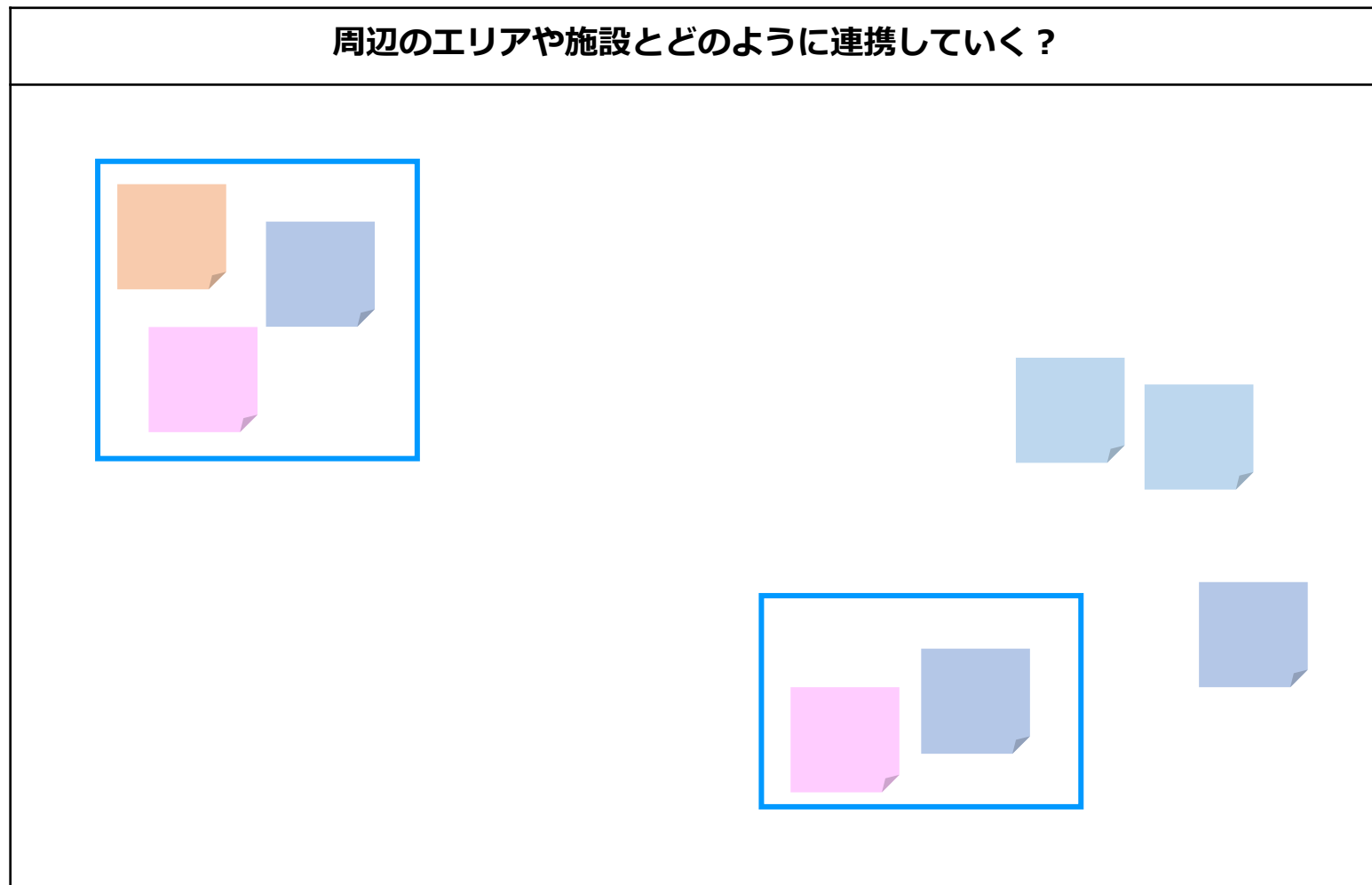
サーカス・バザール



- ・地域の物産展と地域の人々が交流する場と、国内外の大道芸やサーカスを組み合わせたイベントとして、2012年に立ち上げられた。
- ・バザールでは、市内や近隣から農業や商店などの人たちが集まって、旬の野菜やお米、地元の食品や料理、手作りグッズなど、富士見特産の品々を販売したり、親子で楽しめるイベントを開催。
- ・バザールの中で、国内外から集まったサーカスや大道芸の芸人たちが多種多様なパフォーマンスを繰り広げる。

模造紙のつくり方

周辺エリアや施設と連携してどんなイベントやプロジェクトがあるとよい？
どんな仕掛けがあると、回遊性やにぎわいが生まれる？



本日のテーマ

ワーク2「これからどのように参加・参画していく？」

「管理運営計画」の中で、事業内容や利用ルール、組織体制の検討を進めますが、そこで重要になるのが「**市民参加・参画（市民協働・市民共創）**」の考え方です。

イベント参加者として関わる、ボランティアとして関わる、企画・運営に携わる、など、市民参加・参画の手法は多岐に渡ります。

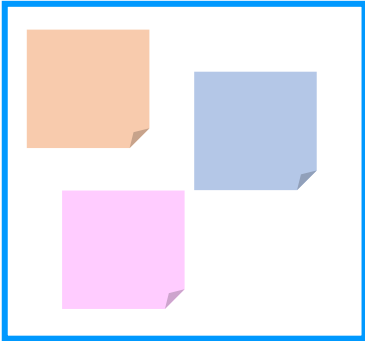
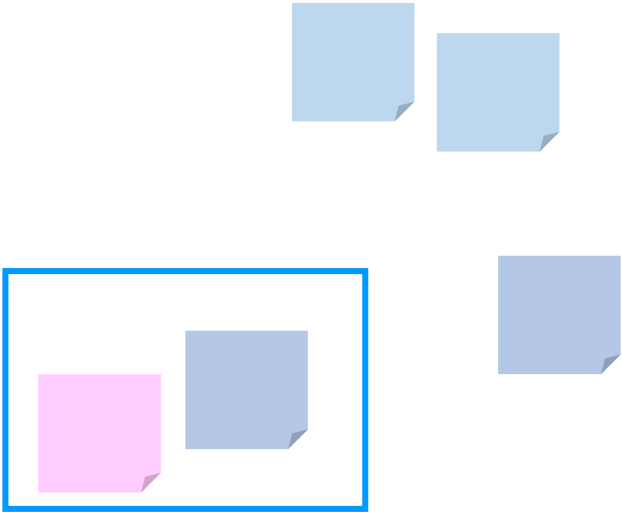
ワーク2では、**今後どのように新たな文化施設に参加・参画していきたいか**、話し合ってください！

考え方のポイント

- 建設中～開館までにどんなイベントがあったら盛り上がる？PRできる？
- 部活動や仕事の合間、どんな活動だったら気軽に参加できそう？
- こんなボランティア組織、サポーター組織があれば施設が盛り上がりそう！

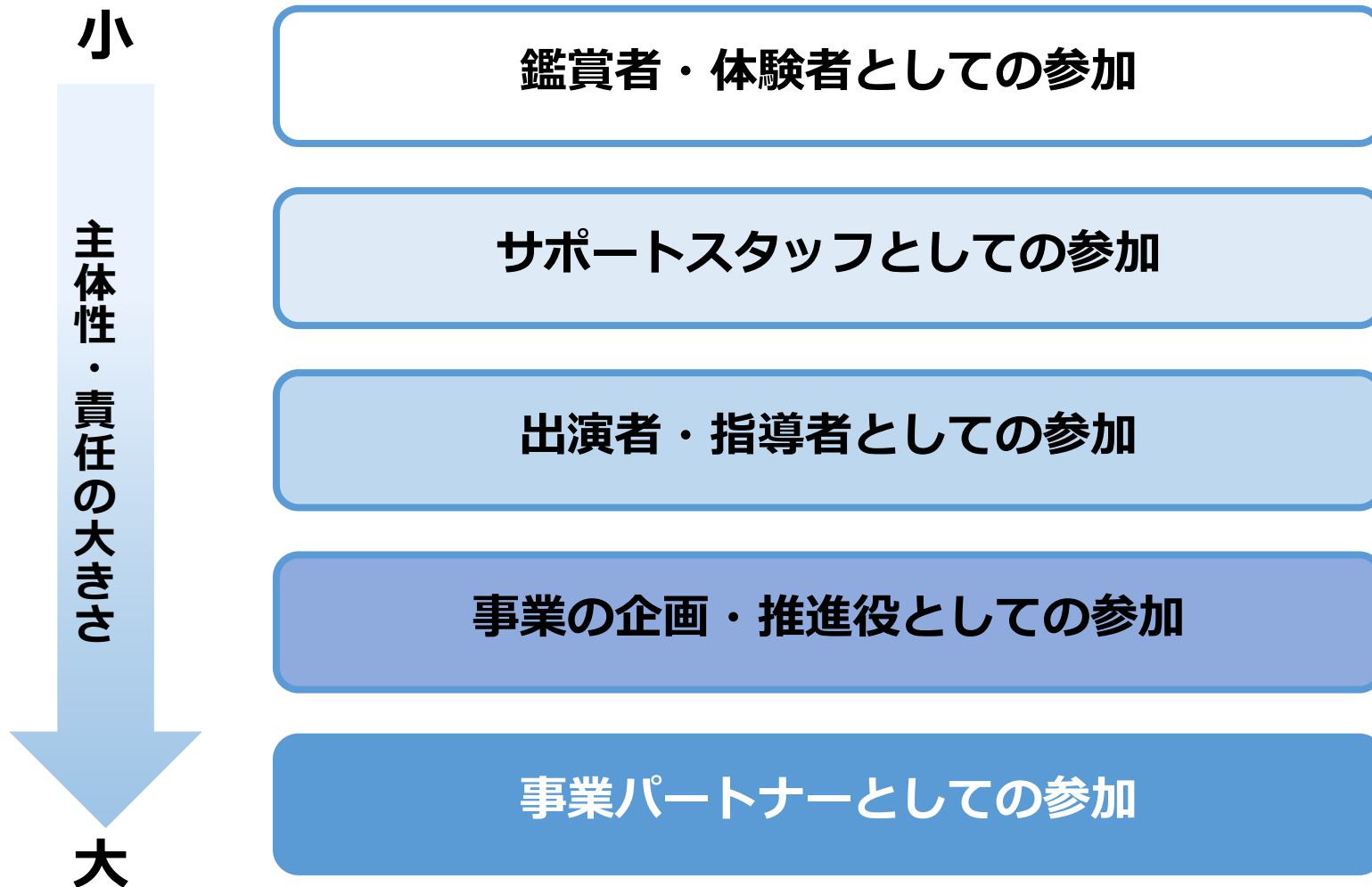
模造紙のつくり方

計画中から開館までの長い期間、どんな活動があれば皆のワクワク感を醸成できる？
新施設のPRにつながる？また、開館後の運営・活動にどんなふうに関わりたい？

こんな活動に参加したいな／こんな組織があったらいいな	
計画中（現在）～開館前 (例：市民WS・プレイベント)	開館後 (例：市民ボランティア・イベントの企画)
	

市民参加・参画の事例

市民参加の主体性・責任の大きさ



市民参加・参画の事例

サポートスタッフとしての参加

長崎ブリックホールサポーター



- ・ブリックホールを中心に行う市主催の文化活動を応援する市民によるボランティア組織。
- ・80名を超える登録があり、1年を通じて様々な場で活躍している。

(主な活動内容)

- ・市主催公演時のチケットもぎり、パンフレット配布、場内誘導、ビデオ撮影
- ・ラウンジコンサートの司会
- ・チラシ、ポスター、冊子の発送
- ・バックステージツアーの企画運営

市民参加・参画の事例

サポートスタッフとしての参加

ハストピアサポーターズ

(蓮田市総合文化会館 ハストピア：埼玉県蓮田市)



- ・市民の力でハストピアを応援するボランティア組織。
- ・約40名で活動しており、**自主事業のチケットもぎりやアナウンス、イベントの企画・実施、はすとぴあ通信の作成**などの活動を通して、ハストピアの運営を手伝う。

市民参加・参画の事例

サポートスタッフとしての参加

さいき城山桜ホールサポーター (さいき城山桜ホール：大分県佐伯市)



- ・ 企画サポートグループ、公演サポートグループの2つのグループに分かれている。
- ・ 企画サポートグループでは、『ツキイチ映画』の企画・運営、『館内装飾』の企画・準備・設営を行う。
- ・ 公演サポートグループでは、イベント当日の会場運営・レセプション、チケットもぎり、客席案内等を行う。
- ・ レセプション講座など各種研修は無料で受講可能。

市民参加・参画の事例

事業の企画・推進役としての参加

運営委員会・実行委員会

(黒部市国際文化センター コラーレ：富山県黒部市)



運営委員会：専門家と利用者による組織。事業や運営について協議を行う。

実行委員会：地域住民の有志による組織。毎年2本のイベントを最初から最後まで、全て自分たちの手で作る。

「24時間ライブ」「コラーレワールド・フェスティバル」

市民参加・参画の事例

事業の企画・推進役としての参加

SAKURAプロダクション (SAKUプロ)

(さいき城山桜ホール：大分県佐伯市)



- ・参加対象は**佐伯市在住又は市内の学校に通学している中高生**。
- ・より良い使い方・過ごし方を目指して、**中高生のアイデア・意欲・行動を反映できる場**として立ち上げ。
- ・主な活動内容
 - 「中高生がホールを利用しやすい環境づくりに向けての検討・提案」
 - 「普段から文化活動に取り組みやすい場づくり」
 - 「個人、グループや部活動の発表の場所の場づくり」
 - 「中高生企画でのイベントの開催・運営」

市民参加・参画の事例

事業パートナーとしての参加

サポートC

(茅野市民館：長野県茅野市)



- NPO法人を設立した事例。
- 茅野市民館と協働し、**茅野市民館と利用者のサポートにあたっている。**
- 館内に事務所を置き、**自主事業の企画・実施、友の会運営、情報紙の配布、公演時のフロント・会場設営補助**などを担っている。

市民参加・参画の事例

事業パートナーとしての参加

芸術工房

(北上市文化交流センター さくらホール：岩手県北上市)



- NPO法人を設立した事例。
- 運営業務の一部をNPOが受託。NPOとしての**主催事業の企画・実施**、ホールでの公演時の**フロントスタッフ**、**チラシ折込**、**託児サービス**等を行っている。
- 会員通貨の「アーツ」を導入し、活動報酬として会員に支給。「アーツ」を貯めると公演チケットの購入にも利用できる。

プレイベントの事例

仮囲いツリーアート

(東大阪市文化創造館：大阪府東大阪市)



- 2019年9月開館の東大阪市文化創造館のプレイベントとして実施。
- 東大阪市の木「クスノキ」を中心に多くの市民が集う図を想像して、八戸の里小学校の子供たちに要素となる絵を書いてほしいと依頼。
- 集まった絵をスキャニングして木の周りに配置。

プレイベントの事例

ワークショップ「めぐるあるくストーリーと」 (岡山芸術創造劇場：岡山県岡山市)



- ・ 2023年開館予定の岡山芸術創造劇場のプレ事業として実施。
- ・ 開館予定の劇場への道のりをアーティストと一緒に参加者と散歩し、写真を使って想像、お話をつくる街歩きワークショップ。

プレイベントの事例

建設現場写真の公開

(新宮市文化複合施設：和歌山県新宮市)



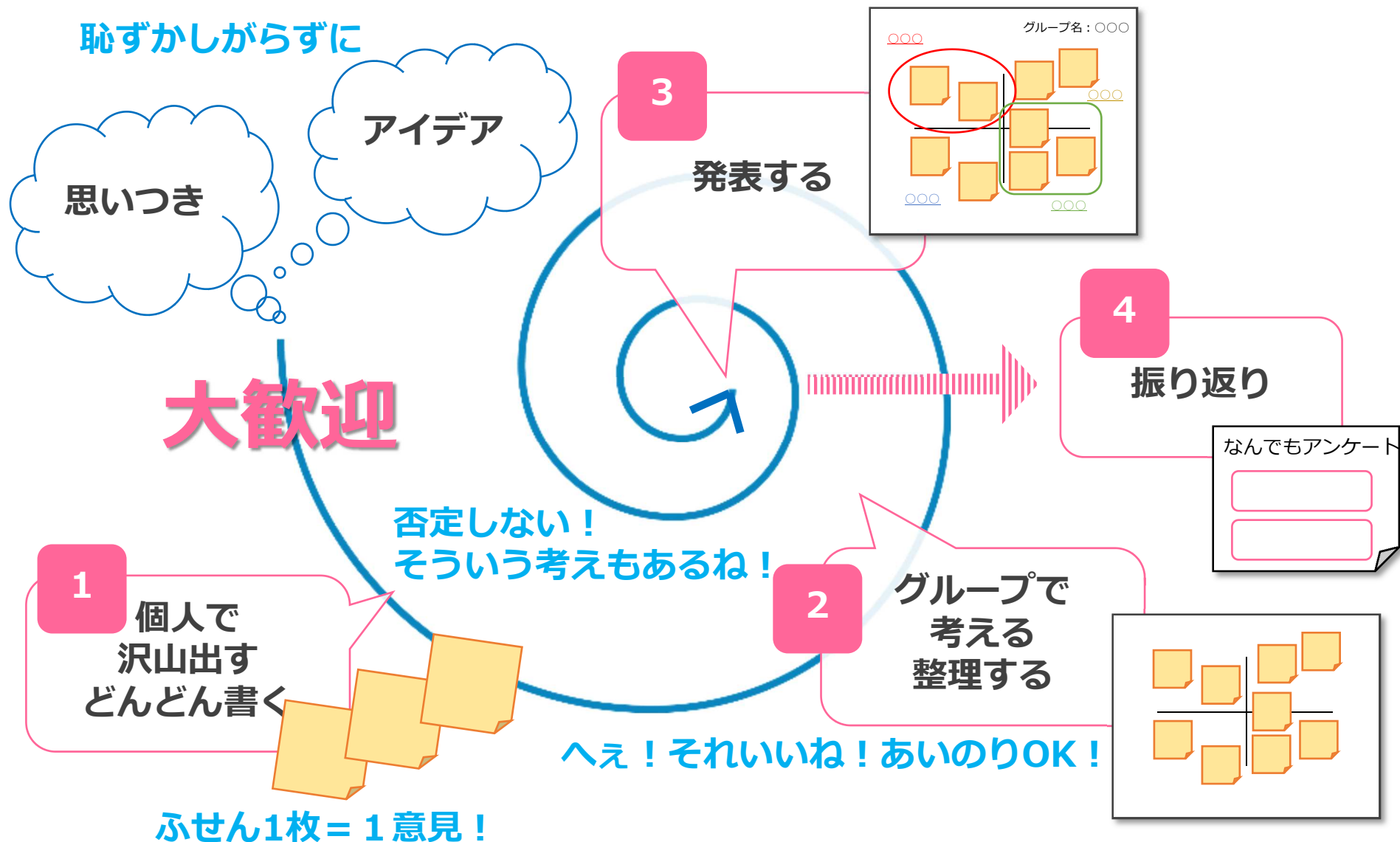
着工前の現場



竣工

- ・市HPにて着工前から定期的に建設現場写真を公開。

ワークショップの流れ



ワークショップのお約束

は

恥ずかしがらずに、
どんどん書いてみる、出してみる。

ひ

否定しない！自分と違った意見も、それもあるね。

ふ

ふせん1枚に一意見。
なるべく沢山、なるべく短く。

へ

へえ！それ、いいね！真似してOK！
便乗して発想を広げる。

ほ

他の人・グループの意見を聴く、褒める。

感染拡大防止のためのお願い

- ご発言の際にマスクを外さないでください。
- 話し合いの際、手を挙げてからお話してください。
- 文房具などの共有、受け渡しは行わないでください。
- 書き終わった付せんは、机の上の分かりやすい位置に置いてください。
- お茶、飴、マスクなどは会場に捨てず、お持ち帰りください。（ご希望の方にゴミ袋をお渡しします）
- 終了後、名札とアンケート、文房具などはご自分の席の前に置いたまま、ご退出ください。
- 参加後に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

なんでもアンケート

最後に

本日の感想や言い足りなかったことなど、

「なんでもアンケート」にご記入ください。

第5回 長崎市新たな文化施設を考える 市民ワークショップ
なんでもアンケート

お名前： _____

1. 本日の感想をどうぞ！

2. 言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

ありがとうございました！

第1回 長崎市新たな文化施設基本計画 市民ワークショップ
なんでもアンケート

お名前： _____

1. 本日の感想をどうぞ！

2. 言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

ありがとうございました！

ワークショップのスケジュール

回数	日付	テーマ
第1回	2021年3月20日（土/祝）	長崎のまちじまん、文化じまん （長崎らしさ、基本理念）
第2回	2021年4月3日（土）	新しい文化施設でやりたいこと やってほしいこと （事業計画、利用規則）
第3回	2021年4月18日（日）	こんな施設があつたらいいな （役割、必要機能、諸室構成）
第4回	2021年7月31日（土）	ソフトとハードをつなげよう （全体の整合性、次段階への期待）
第5回	2023年1月14日（土）	基本計画素案について —これからどのように参加・参画していく？—

